

よき中島



【校舎正門】



【校章】

開拓当時の中島の環境を圖案化したものです。池、豊平川、花しょうぶ、森の大自然で構成されており、質実剛健、勤勉で日々伸びゆく生徒の精神が象徴されています。



【校木】
ななかまど

ななかまどは、北海道の樹として代表的なものです。校章図案の最上端にある木の葉がななかまどであり、校章が表す中島の自然環境とその中で育まれる質実剛健、勤勉の人間像がこの木によって象徴されています。

【校歌】

作詞 風巻 景次郎
作曲 平賀 瑛彬

一 窓に風はかおり 花は開く 木々の緑
栄あり 栄あり つどう我ら
希望は遠く 命わかし
われ等まこと 眉をあげて
ああ朗らかに 友よ励まん

二 窓に雪は映り 空は青し 北の都
栄あり 栄あり つどう我ら
自由の鐘は 市に鳴れば
われ等まこと 心ただし

ああ誇らかに 友よ歌わん

三 窓に影は冴えて 行く手指せり 星の光
栄あり 栄あり つどう我ら
自律の園に われと学ぶ
われ等まこと 道をもとむ
ああたゆみなく 友よ勉めん

よき中島

札幌市立中島中学校

〒064-0912

札幌市中央区南12条西7丁目2番1号

TEL:(011)521-3351

FAX:(011)531-3549

<http://www16.nakajima-j.sapporo-c.ed.jp/>

学校教育目標

= 豊かな人間性を身につけた一人一人の生徒の育成 =

- 1 情操豊かにして、健康で明朗な人間
- 2 互いに人格を尊重し、責任を重んじ、礼儀正しい人間
- 3 自主独立の精神をもち、常に建設的な人間
- 4 科学的思考力をもち、自ら創造できる人間
- 5 勤労を喜び、計画的・継続的に仕事のできる人間

校訓

真剣・真情・真理（朗らかに 心をただし たゆみなく）

真剣～何事にも真剣に取り組み
真情～どんなものにも真情を忘れず
真理～粘り強く真理を追究する



生徒信条

～私たちは中島中学校の生徒として誇りをもっています～

明るい心をもっています

誠の心をもっています

礼儀正しい生徒です（昭和25年の生徒会結成時に生徒自らの手で自分たちの理想像を「信条」に表した）

学校経営の方針

～必要な改革をしっかりと進める学校経営～

- 1 新学習指導要領の着実な実施
- 2 長期欠席・不登校生徒の未然防止と「聖域なき支援」
- 3 働き方改革の推進

本年度の重点目標

～目指す学校像～

- 1 生徒が夢を持てる学校
【生徒の姿】・元気がある ・挑戦している ・考えている
- 2 生徒一人一人の「居場所」があり、楽しく・安全・安心な学校
【生徒の姿】・笑顔がある ・あいさつができる ・会話がある
- 3 保護者・地域に親しまれ、信頼される学校
【生徒の姿】・感謝できる ・礼儀がある ・貢献できる

学校経営の重点

- 1 学ぶ力の育成～分かる・できる・楽しい授業づくりの充実～
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな体の育成
- 4 特別な配慮を必要とする子どもへの教育
- 5 信頼される学校の創造
- 6 働き方への取組～生き生きと働く職場をめざして～

研究主題

「主体的・対話的で深い学びを通して自己の学びをつくる生徒の育成」

～自己の伸びや成長を実感し、学ぶ力を育む自己評価力の育成～

確かな自己評価力をつけることで、生徒自身が自己の伸びや成長を実感し、学ぶ力を育む。



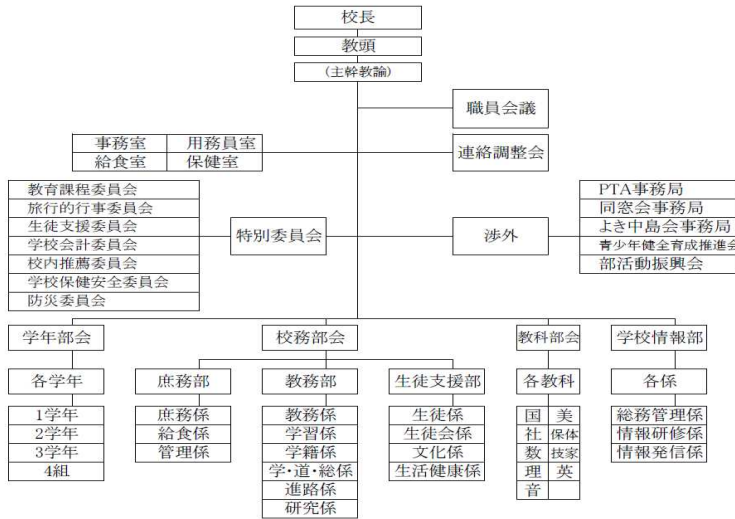
教職員一覧

学校長 高橋 利幸				教頭 大井 一雄							
年組	氏名	教務	校務	年組	氏名	教務	校務	年組	氏名	教務	校務
第1学年 所属	1	原 雄二郎	技 生徒	第3学年 所属	1	及川 登紀子	英 研究	第4学年 所属	1	關 本 孝紀	数 主幹・進路
	2	横山 皓平	理 道・学・総		2	本間 大輝	社 生徒会		2	島 本 亜美	社 学習
	3	下天 悠	英 生徒会		4	新井田 一樹	特 生徒		4	齋 藤 真奈美	特 庶務・会計
	4	公平 檀子	特 学籍			館内 小智子	数 教務			高橋 憲生	理 生徒
		和田 学	体 生活健康			佐藤 潤一	音 文化			若松 直子	英 学籍
		伊藤 尚子	国 文化			志賀 めぐみ	国 学籍			澤江 洋子	国 研究
		種市 裕子	美 研究			齋藤 昇一	国 道・学・総			佐々木 美和子	養 養護教諭
	庄田 寿枝	栄 栄養教諭					三上 宝子	庶 庶務・会計			
事務職員 中谷 美稀				スクールカウンセラー 谷内 早苗							
用務員 菅原 博幸				学びのサポーター・相談支援パートナ-							
校務助手 山田 奈緒子				村田 和子・武田 昇子・伊井 悠							
図書館司書 後藤 幸子				小倉 愛花・三浦 安理沙・増子 湧大							

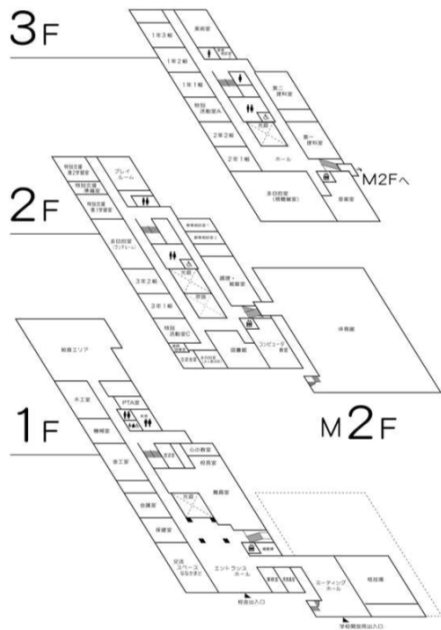
学校組織図

令和3年度 校務組織図

札幌市中島中学校



校舎平面図



沿革史

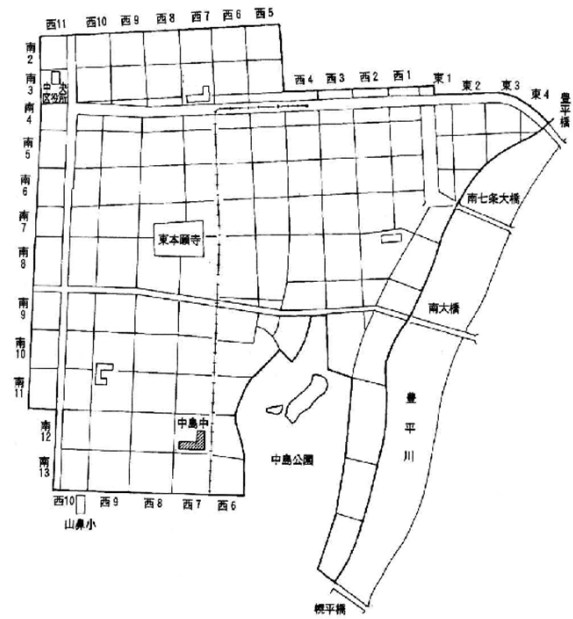
[昭和]

- 25年 校歌制定、作詞：北大教授風巻景次郎氏
作曲：平賀寿男(瑛彬)氏
- 28年 通学区変更、柏・啓明中より432名転入し、単置校となる
- 29年 全市中体連水泳大会で男女共に総合優勝
- 32年 開校10周年記念式典、祝賀会を挙行
- 35年 通学区変更、柏・伏見中へ189名転出
- 37年 開校15周年記念式典、祝賀会を挙行
- 39年 現在地に新校舎完成移転
「蛍雪の願い像」除幕式挙行
通学区変更、柏中より54名転入
特殊学級開設(豊水小分室)
- 40年 中島中学校の教育目標設定
PTA総会で奨学会設立、グラウンド・庭園・プール竣工式
- 41年 文部省主催北海道小中学校教育課程研究集会開催
- 42年 特殊学級、豊水小学校より本校へ移転
- 43年 校木として「ななかまど」決定
- 46年 開校25周年記念研究大会開催
- 47年 開校25周年記念式典挙行
- 48年 中島中学校区体育振興会発足
3階普通教室を視聴覚室に改造
- 49年 全道学校保健大会開催
- 52年 開校30周年記念式典挙行
学校給食運営優良校として文部大臣より表彰
- 54年 第1回中島中学校区教育懇談会開催
- 55年 奨学会設立15周年記念式典、祝賀会挙行
- 57年 優良PTAとして札幌市P協より表彰
全道中学校バスケットボール大会男子優勝、全国大会に出場
全道中学校水泳大会、男子総合優勝
- 58年 優良PTAとして日P協より表彰
- 59年 PTA広報誌「中島だより」市P協会会長賞受賞
- 60年 優良PTAとして文部大臣より表彰
- 61年 北海道道徳研究大会開催
- 61年 第7回全道中学校軟式庭球大会女子2位
- 62年 開校40周年記念式典を挙行、記念誌を刊行

[平成]

- 元年 和室「緑思庵」完成
 - 2年 「緑の絵」コンクール学校賞受賞 記念植樹
 - 3年 中体連全国大会、新体操個人種目1位、2位、全国大会1出場
 - 4年 コンピュータ教室完成
 - 5年 生徒玄関、体育館完成
 - 6年 グラウンド・テニスコート全面改修工事、校舎天井張替工事
 - 7年 校舎内壁面塗装工事
 - 9年 開校50周年記念式典、祝賀会を挙行、記念誌を刊行
 - 10年 コンピュータ室機材更新
 - 13年 校内LAN設置 インターネット接続
 - 15年 学校ホームページ開設
 - 16年 PTA同窓会「よき中島会」発足
 - 18年 開校60周年記念行事準備委員会設立
 - 19年 開校60周年記念各行事の実施(タイムカプセルの設置)
 - 20年 第52回全国特別活動研究協議大会授業校
北海道合唱コンクール金賞受賞(合唱部)
 - 21年 全道中学校相撲大会 団体第3位
 - 22年 第61回北海道合唱コンクール支部長杯受賞(合唱部)
校内LAN整備 コンピュータ教室機材更新
 - 23年 NHK全国学校音楽コンクール全国大会
日本合唱コンクール全国大会に出場
 - 24年 日本PTA全国協議会より優良PTA団体として表彰
中島中学校校舎改築検討委員会発足
 - 25年 NHK全国学校音楽コンクール全道大会出場
 - 26年 2月新校舎改築のため仮設校舎へ移転
 - 27年 3月新校舎へ移転
5月新校舎落成記念式典挙行
 - 28年 開校70周年記念式典準備委員会設立
 - 29年 開校70周年記念式典挙行
 - 30年 9月北海道胆振東部地震による臨時休業、避難所開設
- [令和]
- 元年 3月コロナ禍で第72回卒業証書授与式を実施
 - 2年 4月新型コロナウイルス流行による臨時休校

通学区



生徒数

	学級数	男子	女子	計
1年	3	36	43	79
2年	2	35	26	61
3年	2	29	31	60
特別支援	2	6	1	7
計	9	106	101	207

令和2年6月現在

部活動

- ・ 男子バドミントン
- ・ 女子バスケットボール
- ・ 女子バドミントン
- ・ 合唱
- ・ 男子バスケットボール

PTA役員

会長	小笠原 宏 至	会計	山 田 康 子
副会長	中 村 泉	会計	
副会長	成 田 元 宏	会計	齋 藤 真 奈 美 (教)
副会長	千 葉 真 美 子	監 査	本 間 志 津
副会長	大 井 一 雄 (教頭)	監 査	
顧問	高 橋 利 幸 (校長)	事務局	館 内 小 智 子 (教)